

公益社団法人京のふるさと産品協会令和2年度第3回理事会次第

日時：令和3年3月22日（月） 14時～

場所：ホテルセントノーム京都

1 開 会

2 議 事

[協議事項]

- 1 令和3年度事業計画及び収支予算について
- 2 令和3年度会費の賦課・徴収方法について
- 3 協会職員の異動について

[報告事項]

- 1 令和2年度法人運営に関する事項
- 2 令和2年度業務の実施状況
- 3 理事長（代表理事）・業務執行理事の業務執行状況報告

3 閉 会

協議事項 1 令和3年度事業計画及び収支予算について

I 事業計画

<全体方針>

全国的に「米」から「園芸作物」への転換が加速度的に進み、産地間競争が激化する中、新型コロナウイルスにより激変する「ニューノーマルの生活様式」に対応し、「オンリーワンを目指す攻めのブランド推進事業」と「生産者を下支えする農産物価格安定対策事業」を、関係機関と連携して推進します。

ブランド推進事業

<方針>

- 「ニューノーマルの生活様式」に対応した事業展開
「ニューノーマルの生活様式」に対応し、デジタル手法等を取り入れ、
①ブランド認証 ②情報収集・提供 ③普及啓発 ④相談・指導の4本柱で
事業を展開します。
- 変化に即した販路開拓
京都府、JAグループ京都、漁協及び卸売会社等と連携しながら、京のブランド製品の首都圏・近畿圏における消費宣伝等の企画、提案を行い、コロナの影響における流通・需要変化に即し、新たな高級量販店等の販路開拓を行います。
- ブランド力の強化
京のブランド製品の付加価値・市場評価の向上に向けた取組を、関係機関と連携・推進し、府内産農林水産物の流通販売の先導役を果たせるよう努めます。
事業の推進にあたっては、『「儲かる農業」確立推進プロジェクト』の取組と連携するとともに、PDCAにより進行管理します。

<事業内容>

1 ブランド認証事業

○ブランド品目・産地の取組支援

- ・ブランド認証産地の管理に努め、関係機関と連携して産地の取り組みを支援
- ・ブランド認証品目の円滑な流通・消費拡大に向けた資材（赤帯袋等）整備等支援
- ・ブランド認証品目拡大に向けた関係機関と意見交換等

○ブランド認証の実施・指導（京マークの管理、審査の実施、認証審査会の運営）

- ・京野菜をはじめとした農林水産物ブランド認証制度の適正な運営
- ・安心・安全を担保する京都こだわり生産認証制度の適正な運用、検査を関係機関と連携して実施
- ・カテゴリーごと（京野菜・水産物等）のパンフレットでPR強化（新規）

○市場検品調査の実施

- ・JA全農京都と連携し市場検品調査（毎週2回）
- ・調査結果を府指導機関・JA等へフィードバックし、産地の品質管理を支援

2 情報収集・提供事業

○「ニューノーマルの生活様式」に対応したPR強化(新規)

- ・高級量販店等販路開拓に向け、消費者ニーズに即したPR強化
「簡単・早い・おいしい」料理レシピを開発・動画作成
高級量販店を販路開拓し、動画放映モニターを設置・顧客アピール
出荷計画に連動し、店頭・携帯で情報発信
- ・若い世代の需要拡大に向け、オンライン料理教室などによりPR
- ・流通・料理店関係者に向け、オンライン・対面両方で情報発信
京野菜等のこだわりを伝えるため、従来から府内産地や首都圏で行っている「産地見学会」
「京野菜セミナー」について、オンライン企画も併せて試行
- ・首都圏に「京の食材マーケット開拓員」を引き続き設置し、協会の取組を市場・店舗に働きかけるとともに、情報の収集とフィードバックを行います。

○多様な媒体によりターゲット別に情報発信(情報誌「元気印」、ホームページ・Facebook等)

- ・産地への情報発信
「旬の京野菜提供店」などの料理店、「ほんまもん京野菜取扱店」などの小売・流通関係者
に対して、京野菜等ブランド製品のこだわりや季節感などを情報提供
- ・消費者・料理店・流通・生産者をつなぐ情報発信
京野菜等のこだわりなどの産地情報をホームページやSNS等も活用しながら、幅広い層に
提供し、消費者・小売店・料理店・産地のつながりを強化

○マスコミを通じたPR

- ・TV・新聞・雑誌等のマスコミから京野菜等の問合せ、情報提供の依頼に「京のブランド
製品」の広告塔として対応・PR
- ・新聞・雑誌等にブランド製品広告掲載

3 普及啓発事業

○「ニューノーマルの生活様式」に対応したPR強化(再掲)

- ・高級量販店等販路開拓に向け、消費者ニーズに即したPR強化
「簡単・早い・おいしい」料理レシピを開発・動画作成
高級量販店を販路開拓し、動画放映モニターを設置・顧客アピール
出荷計画に連動し、店頭・携帯で情報発信
- ・若い世代の需要拡大に向け、オンライン料理教室などによりPR
- ・流通・料理店関係者に向け、オンライン・対面両方で情報発信
京野菜等のこだわりを伝えるため、従来から府内産地や首都圏で行っている「産地見学会」
「京野菜セミナー」について、オンライン企画も併せて試行
- ・首都圏に「京の食材マーケット開拓員」を引き続き設置し、協会の取組を市場・店舗に
働きかけるとともに、情報の収集とフィードバックを行います。

○販売店と連携した京のブランド製品PR活動の展開

- ・ブランド京野菜等の消費拡大に向け、多様な取り組み(京野菜マルシェ、セミナーや料
理教室と連携した販売促進、動画放映モニター提供等)をパッケージにした企画を販売
店に提案

○京都府農林水産フェスティバルの開催

50回目となる『「おいしい京都」大収穫祭～京都府農林水産フェスティバル2021』を新
型コロナ感染対策に万全を期して開催(感染状況に応じて企画検討)

4 相談・指導事業

- ・府内各地域でのイベント、研修会等へ京野菜マイスター等の講師派遣を行うとともに各
種生産出荷対策会議に出席し、助言を行います。
- ・生産者・JA関係者が行う市場調査や研修活動に対して必要な支援を行います。

農産物価格安定対策事業

<方針>

●農業経営・農産物生産の安定につなげる事業実施

府内生産者の農業経営を下支えし、再生産を確保することにより、農産物の安定生産を図るとともに、消費者に農産物の安定供給を図ることを目的とする農産物価格安定対策事業の果たす役割は大きいものがあります。

このため、農産物の市場・産地価格等が一定水準以下に低下した時に生産者に補給金を交付する農産物価格安定対策事業を実施します。

●産地の維持・拡大に向けた事業PR

現場への価格安定対策事業の内容周知に取り組み、生産者が価格保証により生産・出荷を安心して進められる環境づくりをすることで、今後の産地維持・拡大に繋がるよう、関係機関と連携し、対応していきます。

<事業内容>

1 野菜等経営安定対策事業（京都府独自制度）

*（ ）:前年度

品目数	産地数	業務区分	交付予約数量
13 (15)	31 (35)	48 (53)	野菜1,097トン、花き871千本 (1,227トン) (1,046千本)

(参考) 各産地に見合う保証基準額を毎年設定して事業を実施することで、わずかな単価変動にも対応できるようにしています。

事業加入要件の不足から産地数はやや減少傾向にあります。

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（国制度）

*（ ）:前年度

品目数	産地数	業務区分	交付予約数量
3 (3)	4 (4)	5 (5)	970トン (1,070トン)

(参考) 近年の気象変動の中で、交付予約数量と出荷実績数量とのかい離のある産地については、行政の指導を踏まえ交付予約数量の見直しを行います。

一方、新規加入者が増える見込みにより、出荷計画を拡大する産地もあります。

3 野菜計画生産出荷促進対策特別事業（京都府独自制度）

*（ ）:前年度

品目数	産地数	業務区分	交付予約数量
2 (2)	4 (4)	5 (5)	1,075トン (1,245トン)

(参考) 2の事業の加入産地において計画的に生産出荷が行われた場合に補給金を上乗せして交付する事業です。

4 豆類価格安定対策事業（京都府独自制度）

*（ ）:前年度

品 目	産地数	業務区分	交付予約数量
黒大豆	5 (5)	9 (9)	100トン (101トン)
小豆	12 (12)	18 (18)	64トン (64トン)

(参考) 近年、気象変動による被害等がありますが、多くの産地においては、交付予約数量を前年並みの現状維持としています。

5 野菜生産出荷安定資金造成円滑化事業（指定野菜価格安定対策事業）（国制度）

(独) 農畜産業振興機構が指定野菜価格安定対策資金を造成する場合において、生産者補給交付金として交付することを条件として、京都府負担額を協会を通じて機構に納付します。

(参考)

*（ ）:前年度

品 目	産地数	業務区分	出荷団体
夏秋なす	1 (1)	2 (2)	全農京都府本部

6 端境期等対策産地育成強化推進支援事業に係る事務支援（国制度）

作柄安定等の技術導入を行うことで、加工・業務用野菜への転換を促進する産地や国産野菜の安定調達ニーズに対応できていない端境期等の生産拡大に取り組む産地を（独）農畜産業振興機構が支援する事業です。

協会は、この事業の円滑化のため、事業実施主体の事務支援を行います。

<事業実施における重点的取り組み>

○収入保険制度との重複加入チェック体制の強化

国の収入保険制度補給金との二重交付を防ぐため、価格安定対策事業との重複加入チェックについて、生産者が価格安定対策事業加入をする段階と関係団体での申込手続き段階での再確認を行っています。

引き続き、事業加入時の生産者への呼びかけと意思確認の徹底、各関係団体間での情報共有と状況報告などによりチェック体制の強化を図り、確認作業による事務手続きの遅延防止等に努めます。

令和3年度農産物価格安定対策事業計画総括表

事業名	産地数	業務区分数	交付予約数量 (トン・千本)	
野菜等経営安定対策事業	野菜(トン)	27	44	1,097
	花き(千本)	4	4	871
特定野菜等供給育成価格差補給事業	野菜(トン)	4	5	970
野菜計画生産出荷促進対策特別事業	野菜(トン)	4	5	1,075
豆類価格安定対策事業	豆類(トン)	17	27	164
合計	野菜豆計(トン)	52	81	3,306
	花き計(千本)	4	4	871

※当協会が事業実施主体となっている事業分のみを記載。

<農産物価格安定対策事業>

1 野菜等経営安定対策事業

区分	対象野菜（野菜）	作型	交付予約数量	作付面積	契約出荷団体	産地名
		業務区分数	〔トン・千本〕	(a)		
更新	ねぎ（九条ねぎ）	春	254.0	640.0	京都やましろ	八幡市
	ねぎ（九条ねぎ）	秋冬	8.2	52.0	京都やましろ	八幡市
	みず菜	春まき	5.4	64.0	京都やましろ	宇治田原町
	みず菜	夏まき	6.0	67.4	京都やましろ	宇治田原町
	みず菜	秋冬まき	9.0	84.4	京都やましろ	宇治田原町
	青とうがらし	普通	10.7	50.0	京都やましろ	精華町
	万願寺とうがらし	半促成	105.7	402.0	京都やましろ	やましろ広域
	ねぎ（九条ねぎ）	春まき	23.6	118.0	京都やましろ	やましろ広域
	ねぎ（九条ねぎ）	夏まき	25.7	128.0	京都やましろ	やましろ広域
	ねぎ（九条ねぎ）	秋冬まき	25.0	125.0	京都やましろ	やましろ広域
	花菜	冬春	7.6	200.0	京都やましろ	やましろ広域
	花菜	冬春	3.8	87.4	京都やましろ	和束町
	青とうがらし	普通	8.7	53.4	京都	京都市
	青とうがらし	普通	13.6	51.2	京都	南丹市
	黒大豆えだまめ	普通	10.8	269.0	京都	南丹市
	みず菜	春まき	32.9	321.8	京都	南丹市
	みず菜	夏まき	25.7	299.6	京都	南丹市
	みず菜	秋冬まき	45.7	328.0	京都	南丹市
	ねぎ（九条ねぎ）	夏	3.2	50.0	京都	南丹市
	ねぎ（九条ねぎ）	秋冬	4.9	58.0	京都	南丹市
	壬生菜	春まき	16.4	164.9	京都	南丹市
	壬生菜	夏まき	13.6	136.9	京都	南丹市
	壬生菜	秋冬まき	19.1	142.4	京都	南丹市
	しゅんぎく	秋冬	8.7	173.9	京都	南丹市
	しゅんぎく	冬春	16.8	169.7	京都	南丹市
	ほうれんそう	春	6.4	152.2	京都	京丹波町
	ほうれんそう	夏秋	4.2	145.8	京都	京丹波町
	ほうれんそう	冬春	7.8	139.8	京都	京丹波町
	みず菜	春まき	7.9	73.7	京都	京丹波町
	みず菜	夏まき	4.1	69.9	京都	京丹波町
	みず菜	秋冬まき	5.3	60.3	京都	京丹波町
	きゅうり	7-9月	70.8	146.0	京都	福知山市
	みず菜	秋冬まき	10.3	76.7	京都	京丹後市
	賀茂なす	普通	10.2	50.0	京都	京丹後市
	ブロッコリー	秋冬	7.5	154.0	京都	京丹後市
	みず菜	春まき	2.7	50.0	京都	伊根町
	みず菜	秋冬まき	2.9	50.0	京都	伊根町
	ねぎ（九条ねぎ）	4-9月	8.5	71.4	京都	伊根町
	ねぎ（九条ねぎ）	10-3月	7.2	65.1	京都	伊根町
	黒大豆えだまめ	普通	4.8	137.0	京都にのくに	福知山市
	万願寺とうがらし	普通	45.5	137.8	京都にのくに	福知山市
	万願寺とうがらし	普通	116.5	323.5	京都にのくに	舞鶴市
	黒大豆えだまめ	普通	8.7	288.5	京都にのくに	綾部市
	万願寺とうがらし	普通	60.7	184.0	京都にのくに	綾部市
野菜小計		44	1,096.8	6,612.7		

区分	対象野菜（花き）	作型	交付予約数量	作付面積	契約出荷団体	産地名
		業務区分数	〔トン・千本〕	(a)		
更新	コギク	5-7月	195.2	61.0	京都やましろ	宇治市
	コギク	7-9月	45.0	30.0	京都	福知山市
	コギク	6-8月	51.1	30.0	京都	宮津市
	コギク	7-9月	580.0	229.1	京都	京丹後市
	花き小計		4	871.3	350.1	
野菜計		44	1,096.8	6,612.7		
花き計		4	871.3	350.1		
合計		48	—	6,962.8		

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業(指定野菜供給産地育成価格差補給事業)

区分	対象野菜	対象JA	対象産地	出荷期間	交付予約数量 〔トン〕
継 続	春キャベツ	京都中央	伏見	4/1~5/15	100.0
短 縮	春キャベツ	京都市、京都中央	伏見	5/16~6/30	295.0
短 縮	夏秋きゅうり	京都やましろ	宇治田原	7/1~9/30	140.0
短 縮	夏秋なす	京都中央	大原野、向日・長岡京	7/1~9/30	375.0
短 縮		京都中央	大原野、向日・長岡京	10/1~11/30	60.0
合 計					970.0

3 野菜計画生産出荷促進対策特別事業

区分	対象野菜	対象JA	対象産地	出荷期間	交付予約数量 〔トン〕
特定野菜等供給産地育成価格差補給事業					
	夏秋きゅうり	京都やましろ	宇治田原	7/1~9/30	140.0
	夏秋なす	京都中央	大原野、向日・長岡京	7/1~9/30	375.0
		京都中央	大原野、向日・長岡京	10/1~11/30	60.0
小 計					575.0
指定野菜価格安定対策事業					
	夏秋なす	京都やましろ	京やましろ	7/1~9/30	400.0
		京都やましろ	京やましろ	10/1~11/30	100.0
小 計					500.0
合 計					1,075.0

4 豆類価格安定対策事業

区分	対象豆類	契約出荷団体	産地名	出荷期間	交付予約数量 [Kg]
更新	黒大豆	京都	京丹後市久美浜町	11/1~12/31	9,727.0
	小豆	京都	亀岡市	11/1~12/31	6,525.0
	小豆	京都	福知山市	1/1~3/31	1,333.0
	小豆	京都	宮津市	11/1~12/31	1,350.0
	小豆	京都にのくに	綾部市	1/1~3/31	1,550.0
	小豆	京都にのくに	福知山市	11/1~12/31	706.0
	小豆	京都にのくに	福知山市	1/1~3/31	314.0
	小豆	京都にのくに	福知山市大江町	11/1~12/31	151.0
	小豆	京都にのくに	福知山市大江町	1/1~3/31	151.0
継続	黒大豆	京都	南丹市日吉町	11/1~12/31	12,013.0
	黒大豆	京都	京丹波町丹波	1/1~3/31	1,287.0
	黒大豆	京都	京丹波町丹波	11/1~12/31	14,977.0
	黒大豆	京都	京丹波町和知	1/1~3/31	43,887.0
	黒大豆	京都	京丹波町和知	11/1~12/31	7,881.0
	黒大豆	京都	京丹後市久美浜町	1/1~3/31	9,576.0
	黒大豆	京都にのくに	福知山市夜久野町	11/1~12/31	215.0
	黒大豆	京都にのくに	福知山市夜久野町	1/1~3/31	215.0
	小豆	京都	京都市右京区京北	11/1~12/31	638.0
	小豆	京都	南丹市日吉町	11/1~12/31	2,593.0
	小豆	京都	京丹波町丹波	11/1~12/31	8,189.0
	小豆	京都	京丹波町瑞穂	11/1~12/31	20,110.0
	小豆	京都	福知山市	11/1~12/31	16,090.0
	小豆	京都にのくに	綾部市	11/1~12/31	905.0
	小豆	京都にのくに	福知山市三和町	11/1~12/31	475.0
	小豆	京都にのくに	福知山市三和町	1/1~3/31	475.0
	小豆	京都にのくに	舞鶴市	11/1~12/31	1,870.0
	小豆	京都にのくに	舞鶴市	1/1~3/1	630.0
	合計	黒大豆合計			
小豆合計				64,055.0	
総合計				163,833.0	

Ⅱ 収支予算

収支予算書(損益ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	(21,152)	(21,152)	(-)
正会員受取会費	21,072	21,072	-
賛助会員受取会費	80	80	-
受取補助金等	(56,347)	(113,014)	(△56,666)
受取ブランド推進事業補助金	41,720	94,540	△52,820
受取野菜等経営安定対策事業 交付準備金	13,591	17,220	△3,628
受取特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付準備金	738	953	△215
受取野菜計画生産出荷促進対策 特別事業交付準備金	280	280	-
受取豆類価格安定対策事業交付 準備金	18	21	△3
受取助成金等	(1,478)	(1,908)	(△430)
受取特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付助成金	1,478	1,908	△430
受取負担金	(21,347)	(26,194)	(△4,846)
受取負担金1号	13,591	17,220	△3,628
受取負担金3号	738	953	△215
受取負担金5号	18	21	△3
受取分担金	7,000	8,000	△1,000
雑収益	(432)	(433)	(△1)
受取利息	32	33	△1
雑収益	400	400	-
経常収益計	100,757	162,702	△61,944
(2) 経常費用			
事業費	(95,280)	(154,885)	(△59,604)
役員報酬	5,625	7,125	△1,500
給料手当	19,794	19,868	△74
賃金	1,900	1,900	-
諸謝金	530	530	-
福利厚生費	11	11	-
法定福利費	3,851	4,585	△734
保険料	68	45	23
会議費	553	543	10
旅費	1,930	1,920	10
通信運搬費	1,010	795	214
減価償却費	344	197	147
消耗品費	429	429	-
印刷資料費	6,703	6,714	△10
光熱水費	270	270	-
賃借料	2,811	2,940	△129

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 額
支払手数料	1,182	724	458
支払助成金	750	50,750	△50,000
委託料	7,769	8,516	△746
広告宣伝費	7,777	6,977	800
支払負担金	1,509	1,459	50
支払補助金等			
支払野菜等経営安定対策事業 交付準備金	27,182	34,440	△7,257
支払特定野菜等供給産地育成 価格差補給事業交付準備金	2,955	3,815	△860
支払野菜計画生産出荷促進対策 特別事業交付準備金	280	280	-
支払豆類価格安定対策事業交付準備金	36	42	△6
雑費	2	2	-
管理費	(5,939)	(8,150)	(△2,211)
役員報酬	1,965	2,465	△500
給料手当	2,248	2,248	-
福利厚生費	3	3	-
法定福利費	598	804	△205
保険料	4	9	△4
会議費	24	26	△2
旅費	9	12	△3
通信運搬費	52	10	42
減価償却費	118	136	△18
消耗品費	11	411	△400
印刷資料費	21	123	△102
光熱水費	54	54	-
賃借料	483	509	△25
支払手数料	217	175	41
委託料	125	158	△33
支払負担金	2	1,002	△1,000
雑費	0	0	-
經常費用計	101,219	163,036	△61,816
当期經常増減額	△462	△334	△128
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	-	-	-
(2) 經常外費用			
經常外費用計	-	-	-
当期經常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△462	△334	△128
一般正味財産期首残高	11,245	11,579	△334
一般正味財産期末残高	10,782	11,245	△462
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
III 正味財産期末残高	10,782	11,245	△462

正味財産増減予算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 控除	合計
	ブランド 推進事業	価格安定 対策事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取会費	7,100	8,626	-	15,726	5,425	-	21,152
正会員受取会費	7,020	8,626	-	15,646	5,425	-	21,072
賛助会員受取会費	80	-	-	80	-	-	80
受取補助金等	38,720	15,752	-	54,472	1,875	-	56,347
受取ブランド推進事業補助金	38,720	1,125	-	39,845	1,875	-	41,720
受取野菜等経営安定対策事業交付準備金	-	13,591	-	13,591	-	-	13,591
受取特定野菜等供給産地育成価格差補給事業交付準備金	-	738	-	738	-	-	738
受取野菜計画生産出荷促進対策特別事業交付準備金	-	280	-	280	-	-	280
受取豆類価格安定対策事業交付準備金	-	18	-	18	-	-	18
受取助成金等	-	1,478	-	1,478	-	-	1,478
受取特定野菜等供給産地育成価格差補給事業交付助成金	-	1,478	-	1,478	-	-	1,478
受取負担金	7,000	14,347	-	21,347	-	-	21,347
受取負担金1号	-	13,591	-	13,591	-	-	13,591
受取負担金3号	-	738	-	738	-	-	738
受取負担金5号	-	18	-	18	-	-	18
受取分担金	7,000	-	-	7,000	-	-	7,000
雑収益	102	330	-	432	-	-	432
受取利息	2	30	-	32	-	-	32
雑収益	100	300	-	400	-	-	400
経常収益計	52,922	40,535	-	93,457	7,300	-	100,757

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 控除	合計
	ブランド 推進事業	価格安定 対策事業	共通	小計			
(2)経常費用							
事業費	54,399	40,880	-	95,280		-	95,280
役員報酬	4,500	1,125	-	5,625		-	5,625
給料手当	12,295	7,499	-	19,794		-	19,794
賃金	1,900	-	-	1,900		-	1,900
諸謝金	530	-	-	530		-	530
福利厚生費	4	7	-	11		-	11
法定福利費	2,533	1,318	-	3,851		-	3,851
保険料	62	6	-	68		-	68
会議費	553	-	-	553		-	553
旅費	1,920	10	-	1,930		-	1,930
通信運搬費	1,000	9	-	1,010		-	1,010
減価償却費	283	60	-	344		-	344
消耗品費	422	6	-	429		-	429
印刷資料費	6,644	58	-	6,703		-	6,703
光熱水費	249	20	-	270		-	270
賃借料	2,732	79	-	2,811		-	2,811
支払手数料	1,099	83	-	1,182		-	1,182
支払助成金	750	-	-	750		-	750
委託料	7,628	141	-	7,769		-	7,769
広告宣伝費	7,777	-	-	7,777		-	7,777
支払負担金	1,509	-	-	1,509		-	1,509
支払補助金等							
支払野菜等経営安定対策事業交付準備金	-	27,182	-	27,182		-	27,182
支払特定野菜等供給産地育成価格差補給事業交付準備金	-	2,955	-	2,955		-	2,955
支払野菜計画生産出荷促進対策特別事業交付準備金	-	280	-	280		-	280
支払豆類価格安定対策事業交付準備金	-	36	-	36		-	36
雑費	1	0	-	2		-	2

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 控除	合計
	ブランド 推進事業	価格安定 対策事業	共通	小計			
管理費					5,939	-	5,939
役員報酬					1,965	-	1,965
給料手当					2,248	-	2,248
福利厚生費					3	-	3
法定福利費					598	-	598
保険料					4	-	4
会議費					24	-	24
旅費					9	-	9
通信運搬費					52	-	52
減価償却費					118	-	118
消耗品費					11	-	11
印刷資料費					21	-	21
光熱水費					54	-	54
賃借料					483	-	483
支払手数料					217	-	217
委託料					125	-	125
支払負担金					2	-	2
雑費					0	-	0
経常費用計	54,399	40,880	-	95,280	5,939	-	101,219

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 控除	合計
	ブランド 推進事業	価格安定 対策事業	共通	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,477	△345	-	△1,823	1,360	-	△462
基本財産評価損益等	-	-	-	-	-	-	-
特定資産評価損益等	-	-	-	-	-	-	-
投資有価証券評価損益等	-	-	-	-	-	-	-
評価損益等計	-	-	-	-	-	-	-
当期経常増減額	△1,477	△345	-	△1,823	1,360	-	△462
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	-	-	-	-	-	-	-
(2) 経常外費用							
経常外費用計	-	-	-	-	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-	-	-	-	-
他会計振替額	-	-	-	-	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△1,477	△345	-	△1,823	1,360	-	△462
一般正味財産期首残高	△393	△14,281	-	△14,674	25,919	-	11,245
一般正味財産期末残高	△1,870	△14,626	-	△16,497	27,280	-	10,782
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	-	-	-	-	-	-	-
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-
III 正味財産期末残高	△1,870	△14,626	-	△16,497	27,280	-	10,782

協議事項 2 令和3年度会費の賦課・徴収方法について

(総会決議事項)

定款第7条の規定及び会費等に関する規程により、令和3年度協会事業実施のため、下記により会費を徴収する。

1 ブランド推進事業関係会費

(定款第4条第1項第1号に規定するブランド推進事業関係会費)

総 額 7,800,000円

(1) 賦課方法

京都府、JA連合会、JA及びその他連合会・会員にあっては、次の額をそれぞれ負担する。

京 都 府	3,000,000円
J A 連 合 会	2,700,000円
J A	1,500,000円
その他連合会・会員	600,000円

(2) 徴収方法

令和3年10月31日までに徴収する。

2 価格安定対策事業関係会費

(定款第4条第1項第2号に規定する価格安定事業関係会費)

総 額 13,272,000円

(1) 賦課方法

京都府にあっては、特別運営費(5,772千円)及び会費の対象となる価格対策管理運営費(7,500千円)の3分の1の額、市町村・JA連合会にあっては、会費の対象となる価格対策管理運営費の6分の1の額を、JAにあっては3分の1の額をそれぞれ負担する。

京 都 府	8,272,000円
市 町 村	1,250,000円
J A 連 合 会	1,250,000円
J A	2,500,000円

(2) 徴収方法

令和3年10月31日までに徴収する。

3 賛助会員会費

(定款第5条第1項第2号に規定する賛助会員の会費)

(1) 賦課方法

1団体当たり 20,000円以上

(2) 徴収方法

既加入団体にあつては、令和3年10月31日までに徴収し、新規加入団体にあつては、入会后速やかに徴収する。

【参 考】

<農産物価格安定対策事業負担金>

1 野菜等経営安定対策事業負担金

負担金17,933,701円は、令和3年度において見込まれる交付予約数量野菜1,097トン、花き871千本に係る業務方法書第6条第2項に規定する造成資金と令和2年度末残資金との差額であって、野菜等経営安定対策事業に係る交付準備金とすることを指定した負担金。

(1) 賦課方法

業務方法書第6条第2項の規定による。

(2) 徴収方法

契約出荷団体、その他の負担金にあつては、京のふるさと産品協会が指定した日までに徴収する。

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業負担金

負担金204,000円は、令和3年度において見込まれる交付予約数量970トンに係る業務方法書第30条第2項に規定する造成資金と令和2年度末残資金との差額であって、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業に係る交付準備金とすることを指定した負担金。

(1) 賦課方法

業務方法書第30条第2項の規定による。

(2) 徴収方法

対象出荷団体、その他の負担金にあつては、京のふるさと産品協会が指定した日までに徴収する。

3 豆類価格安定対策事業負担金

負担金455,000円は、令和3年度において見込まれる交付予約数量164トンに係る業務方法書第75条第2項に規定する造成資金と令和2年度末残資金との差額であって、豆類価格安定対策事業に係る交付準備金とすることを指定した負担金。

(1) 賦課方法

業務方法書第75条第2項の規定による。

(2) 徴収方法

契約出荷団体、その他の負担金にあつては、京のふるさと産品協会が指定した日までに徴収する。

報告事項 1 令和2年度法人運営に関する事項

1 登記関係

- 役員の変更登記 令和2年6月23日
- 事務所移転登記 令和2年8月26日

2 総会・理事会の開催状況

◇ 総会

	開催年月日	主 な 内 容
定時総会	令和2. 6. 12	<ul style="list-style-type: none">・ 令和2年度事業報告及び収支決算の承認について・ 令和2年度会費及び負担金の賦課徴収方法について・ 定款の変更について・ 役員を選任について・ 報告事項 (令和2年度事業計画、ブランド認証審査会運営要領の改正、協会事務所の移転、京のブランド戦略進行管理表の要点と補足等)

◇ 理事会

	開催年月日	主 な 内 容
第1回理事会	令和2. 5. 27	<ul style="list-style-type: none">・ 令和元年度事業報告及び収支決算について・ 令和2年度補正予算について・ 余裕金の預入先金融機関について・ 定款の改正について・ 役員候補者について・ ブランド認証審査会運営要領の改正について・ 第48回定時総会の開催について・ 報告事項（業務方法書の一部改正、事務所の移転）
第2回理事会	令和2. 6. 12	<ul style="list-style-type: none">・ 役員互選について

3 定期提出書類・変更届出等

- 令和元年度事業報告書等の届出 令和2年6月23日
- 令和3年度事業計画等の届出 令和3年3月31日(予定)

報告事項2 令和2年度業務の実施状況

ブランド推進事業

1 ブランド認証事業

(1) ブランド認証の状況

ブランド認証品目：31品目（内加工品2）

ブランド指定産地：113産地（令和3年3月22日現在）

(2) ブランド認証審査会

○認証審査会運営の改正

①カテゴリー別の2つの審査会の設置

従来の「総合審査会」に代え、京野菜・果実・酒米（26品目）を審査する「京野菜審査会」と水産物・林産物・加工品（5品目）を審査する「農林水産品審査会」の2つの審査会を設置。

②幹事会の設置

従来の「専門部会」に代え、実務担当者による「幹事会」を設置し、産地の新規指定、更新等に関する要件等事務的審査を実施。

○ブランド認証審査会の開催状況

年 月 日	審査会名	審 議 内 容
令和2年9月14日	幹事会（青果）	ブランド産地の新規指定及び更新について
9月18日	京野菜審査会	//
令和3年3月5日	合同幹事会（青果、豆・酒米、京の酒・京漬物）	ブランド産地の更新について
//	幹事会（林産）	//
//	幹事会（水産）	//
3月26日（予定）	京野菜審査会	//
//	農林水産品審査会	//

2 コロナの影響に対応しブランド産品等の消費を支える取組

(1) 『京もの「中食」需要拡大支援事業』で料理店を支援

○外食需要の落ち込みにより、ブランド京野菜等の消費量が減少。

○京野菜をはじめとする府内産農林水産物の需要拡大を図ることを目的に、旬の京野菜提供店等が行う中食事業（惣菜の加工・販売、仕出し、テイクアウトなど）を支援。

助成件数	127 店舗
助成金額	54,763 千円（交付決定額）

<事業概要>

補助対象者：中食サービスを開始・拡大する旬の京野菜提供店（府内及び首都圏）及び京都府知事が認めた府内飲食店

補助対象経費：府内産農林水産物（指定品目「京もの農林水産物」）を3品以上使用した中食メニューの開始・拡充に必要なメニュー開発・広告等の経費

補助率：対象経費の2/3 ＊補助額上限500千円

(2) 『「京の酒」需要拡大支援事業』で酒造会社を支援

○外食等の自粛の影響により、京都府オリジナル品種の「祝」や「京の輝き」などの京都府内産米を100%原料に使用した清酒の消費量、酒米の使用量が減少。

○府内産米を使用した清酒の家庭内消費拡大を図る取組を支援。

助成件数	7 社・団体
助成金額	2,571 千円（交付決定額）

<事業概要>

補助対象者：清酒を製造する京都府内の酒造会社等

補助対象経費：京の酒の需要拡大のために実施する商品開発や宣伝活動等

補助率：対象経費の2/3 ＊補助額上限500千円

(3) 新たな販促ツール（レシピ動画）でPR

○店頭でのマネキンによる試食PRに代わり、店頭モニターでレシピ動画を放映。

○厳しい料理店需要に対応し、ブランド京野菜の量販店向け販路開拓に活用。

○消費者ニーズに即し「簡単・早い・おいしい」レシピ動画を、賀茂なす、堀川ごぼうなど15品目で作成。



○設置店舗

全農園芸課と連携し、京都府内のイオン（4店舗）、イズミヤ（10店舗）、平和堂（3店舗）、山田屋（2店舗）、首都圏高島屋（3店舗）で展開中。

首都圏の高島屋（新宿・横浜・大宮）には卸会社（東京青果(株)）・京の食材マーケット開拓員を通じてモニター設置。

○全農京都の出荷計画に合わせて店頭モニターで販促実施。

出荷袋にQRコード貼り付け、消費者に京野菜簡単レシピ提供。

<新たな販促ツール（レシピ動画）でPR 成果と課題>

○全農と店との商談に際し、レシピ動画を提案して、店舗から好評を得た。

○動画コンテンツの入れ替え時に店舗担当者と情報交換し、消費者のニーズを把握。

○今後も産地の紹介動画や調理方法など店のニーズを反映し、新規動画コンテンツを作成、PR継続。

3 オンライン等を活用し、新たな京野菜ファン獲得

（1）あじわい館で「オンライン料理教室」

「自宅で料亭ごはん」

○あじわい館と共催で、賀茂なす、京 夏ずきん・九条ねぎを使ったオンライン料理教室を開催。（2回）

○協会から、①参加者全員に復習教材として賀茂なす（各4個）他を送付、②10名に京野菜セット（SNSにアップした方の中から抽選）をプレゼント。



「京もの料理の達人」

○（株）リーフ・パブリケーションズが主催する京野菜ブランドをテーマとしたオンライン料理教室において、京のブランド産品を説明。



<オンライン等を活用し新たな京野菜ファン獲得 成果と課題>

○「オンライン方式」を試行したところ

講師は「調理しながら講演もしている感じで、通常の料理教室より大変だがしっかりやりたい」、参加者は「オンラインはスケジュール面で参加しやすい」「行き帰りがないので効率的で楽」などの声。

○今後も、ブランド京野菜の家庭での消費増加の取組が必要なことから、今後、「オンライン方式」をブラッシュアップし、「対面方式」「オンライン方式」両方式の良さを活かしながら、企画・実施。

（２）首都圏で「京野菜お試し会」・「京野菜等セミナー」

○首都圏の料理が好きな若年層をターゲットに、新たな京野菜ファン獲得のための料理教室・セミナーを実施。

○対面方式で実施したものを、オンラインでも配信。

「京野菜お試し会」

日 時 令和2年12月2日～27日

会場等 ABCクッキングスタジオ

首都圏5スタジオ のべ25回

（新宿高島屋タイムズスクエア、ルミネ池袋、
玉川高島屋S・C、丸の内、渋谷）

内 容 旬の京のブランド製品の紹介・料理実演及び
試食会

参加者 1,391名

食 材 聖護院だいこん

（試食「聖護院だいこんとお揚げのたいたん」）



「京野菜等セミナー」

日 時 令和3年3月16日

会場等 ABCクッキングスタジオ・丸の内スタジオ

内 容 旬の京都産食材の紹介・料理実演及び試食会

参加者 40名（他に、YouTubeで公開）

食 材 花菜、京鱈、新京地どり

「野菜の会」

日 時 令和2年11月25日

会場等 学士会館

内 容 堀川ごぼうを中心とした京野菜の紹介

参加者 41名

食 材 堀川ごぼう



<首都圏で「京野菜お試し会」・「京野菜等セミナー」成果と課題>

○参加者から「大根は嫌いだが、聖護院だいこんは食べられる」「堀川ごぼうを初めて食べたが美味しい、他の食べ方も知りたい」などの声。

○アンケートでも「お正月に使いそう」「美味しいので買って帰ろうと思う」との声。

○オンライン配信により、当日参加者以外の者へもより広く効率的にPR。

○オンライン配信は費用がかかるものの、首都圏の食に関心が高い消費者をターゲットに、今後も発信を計画。

(3) 京野菜マルシェでの京野菜のPR・販売促進

○京野菜販売促進キャンペーンを、府内スーパー、直売所等約140店舗で展開。

実施主体：おいしおすすめ京野菜キャンペーン実行委員会（府・京都市・JA中央会・JA全農京都・産品協会・青果協会・京都生協）

期 間：令和3年2月18日～3月18日

○ポスター・のぼり・店頭ポップ・レシピ動画等を提供し、「京野菜特設コーナー」設置支援。

○一定額以上購入された来店者に「京野菜プレゼントキャンペーン」実施。



<京野菜マルシェ 成果と課題>

○昨年までの「特設コーナー・コンクール」から、店舗の要望に即して売り場を盛り上げる販促資材提供等に変更。

○卸売市場関係者とも連携しキャンペーン展開。

○今後、店舗の要望を把握しながら、今後もキャンペーンを企画。

(4) 大学や料理専門学校等でのオンラインセミナーやPR活動

○大学や専門学校等で学び・研究する学生・教官等へ積極的にブランド産品をPR。

「京都調理師専門学校でのオンライン特別事業」

日 時 令和2年10月2日

会場等 京都調理師専門学校講義室

内 容 ～オンリーワンを目指して、京野菜ブランド戦略を推進～
京 野 菜 の 美 味 し さ ！

参加者 約100名（講義室で録画撮りし、YouTubeで学生に配信）

「立命館大学食マネジメント学部主催のセミナー」

日 時 令和3年1月21日

会場等 立命館大学草津キャンパススタジオ

内 容 ～京都の強みを活かし、オンリーワンを目指す～
京野菜ブランド戦略と地域活性化

参加者 約50名（教官・学生、オンライン視聴者）

「和食文化学会オンライン懇親会へ食材提供・PR」

日 時 令和3年2月27日

会場等 京都府立大学 オンライン参加者

内 容 魚三楼（荒木主人は京都国際観光レストラン協会会長、京野菜提供店）のデリバリー弁当にブランド産品等を食材提供し、オンライン説明

参加者 50名（京都府立大会場、オンライン視聴者）

食 材 花菜、えびいも、丹後とり貝、大黒本しめじ

宇治茶、碾茶（←コロナ禍でストックの全農京都提供の試供品）



<大学や専門学校等でのPR活動 成果と課題>

- 大学や専門学校の要請に応じてブランド京野菜等の魅力を伝える講演を実施。参加者や視聴者の感触はすこぶるよく、社会人となって食の分野で活動する学生が、将来にわたって京都産食材を様々な局面で活用することを期待したい。
- オンラインによる情報提供の場が多く、コロナ禍が早く収束し、対面でのよりリアルな情報提供の機会が望まれる。

4 ほんまもん京野菜取扱店、旬の京野菜提供店と「京のおもてなし企画」

(1)「ほんまもん京野菜取扱店」の新規認定

- 京野菜を常に品揃えして積極的に販売している店を「ほんまもん京野菜取扱店」として協会が認定。
- 京都エリアで1店を新規認定しました。

<旬の京野菜提供店 成果と課題>

- 現在の認定店数 計 49店 (内訳)京都 25店 東京 24店
- 産地見学会等を通じて、取扱店と積極的に情報交換を行うなどコミュニケーションを深め、消費者・販売店のニーズの把握に努めます。

(2)「旬の京野菜提供店」の新規認定

- 京野菜の消費拡大を図り生産振興につなげるため、京都府内・東京都内で京野菜を使用する料理店を「旬の京野菜提供店」として協会が認定。
- コロナ禍で料理店にとって厳しい状況でありましたが、「認定してほしい」という京都府内の店からの要望があり、公募したところ13店から申請。今後審査会で審査予定。



<旬の京野菜提供店 成果と課題>

- 現在の認定店数 計 266店 (内訳)京都192店 東京74店
- 今後、認定店から好評の産地見学会について、「オンライン方式」を試行。

(3) 京のおもてなし企画

○京野菜をはじめとする府内産農林畜水産物の消費拡大を図るため、「京のおもてなし協議会」(構成団体：京都府、JA京都中央会、全農京都、京のふるさと産品協会)の枠組みで、料理店等と連携して様々な取組を企画・推進。

○今年度は、コロナに対応した取組として、

- ・府等主催の「省エネ家電買替えキャンペーン」に参加し、府内消費者に向け、「府内のおいしい特産品セット」発送、「京の食材が食べられる商品券」発行により、府内産農林畜水産物をPR。
- ・「おもてなし2021ー早春ー」キャンペーンを府内料理店に呼びかけ、府内産食材を使った料理を提供。今回新たなツールとして「スマホへのチラシ配信」により参加料理店を紹介。
- ・歴史ある「第115回京料理展示大会オンライン開催」(主催：京都料理組合主催 期間：12/13～12/14)に出展。
全国の料理関係者、京料理に関心の高い消費者や料理学校生徒等にブランド京野菜等のおいしさ、品質の良さをPR。

<京のおもてなし企画 成果と課題>

- 府内産食材を使った特色ある料理店と連携し、府内産農林畜水産物をPR。
- 今後、参加料理店の増加に向け、「スマホへのチラシ配信」などの新たなPR手法を工夫しながら、京都府・JAグループ京都一体となった取組を継続。

5 多様な媒体で情報発信

(1) カテゴリー(京野菜・水産物等)ごとにパンフレット作成



○これまでの統一パンフレットに加え、「ブランド京野菜」(日本語・英語)、「ブランド水産物」のパンフレットを作成し、PR強化。

(2) 情報誌「元気印」、ホームページ・Facebook



○産地、協会の取組をお店、消費者につなげるため、旬の京野菜提供店・ほんまもん京野菜取扱店・JA・生産部会等に向け、情報誌「元気印」を2回発行・送付。

○京野菜レシピ等をホームページ・Facebook等で消費者等に情報提供。

(3) 雑誌等で広告



- 「月刊京都」「京都観光コンシェルジュ」「秋の京都 2020 京都 紅葉絶景百選」「芸妓さんが教える 京都ええとこ映えるところ」「& TRAVEL 京都2022 ハンディ版」「るるぶ FREE 京都」など6誌、WEB サイト「デジタル茶の湯マップ」に京野菜等ブランド製品の広告掲載

- 「月刊京都」8月号に賀茂なすの 広告記事を掲載



(4) マスコミ・各種団体への京野菜等の情報提供

- 京野菜等を取り上げたい新聞記事、TVのクイズ番組等や子供向け教材などの取材 に対応。
- マスコミ等に京野菜の写真、データ等71件提供。

<多様な媒体で情報発信 成果と課題>

- パンフレット、情報誌、Facebook、マスコミなど多様な媒体でPR。
- 今後、媒体別にターゲットをより明確にし、産地と流通・消費者の間の情報をつ なく広報・PRを強化。

6 「京の食材マーケット開拓員」が首都圏の販路開拓サポート

- 「京の食材マーケット開拓員」を設置し、京野菜をはじめとする府内産農林水産物及 びその加工品について、首都圏での料飲店や業務向けの新たな需要開拓を推進。
- 主な活動内容
 - ・新たな販売ルートや企業要望の把握
 - ・首都圏情報の伝達や協会業務の首都圏調整
 - ・首都圏販路開拓事業のサポート
 - ・旬の京野菜提供店、ほんまもん京野菜取扱い店の新規開拓・既認定店との情報交換

<「京の食材マーケット開拓員」が首都圏の販路開拓サポート 成果と課題>

- 訪問実績 158回 (令和3年2月22日現在)
- 卸、全農と調整しながら、高級量販店等への九条ねぎ等の販路開拓をサポート。
- 今後、コロナの状況のもと、高級量販店をターゲットに、首都圏卸等との調整、 高級量販店の販路開拓サポートに重点を置いた活動を計画。

7 市場検品調査でブランド京野菜の品質確認

- 市場流通しているブランド京野菜の品質を確認するため、京都市中央卸売市場第1市場において市場検品調査を実施。
- 全農園芸課と連携して、毎週2回実施。

<実施期間> 通年実施

<回数> 81回（うち産品協会41回）（令和3年2月22日現在）

<市場検品調査でブランド京野菜の品質確認 成果・課題>

- ブランド京野菜を中心に、品質上の問題点等を各産地にフィードバック。市況や市場関係者から聞き取ったリアルタイムの情報を、関係機関に提供。
- 今後も、京都府特産物育成協議会等の関係機関、特に産地育成推進指導員と情報共有を図り、産地の品質向上に向け継続実施。



セリにかかるものを早朝に検品調査



品質チェック

価格安定対事業

1 補給金の交付等

- 野菜や花、豆などの生産農家の経営安定を図るため、市場価格の低落時等に、補給金の交付等を実施
- 令和2年度の実績（見込み）は、別紙のとおり

2 加工・業務用野菜生産基盤強化支援事業

- 京都農業協同組合が実施する事業(1品目)の事務支援を実施

参考：主な行事

月 日	行 事 等	場 所
4月 6日 13～17日 21日	水産物ブランド産品検査計画協議 各JAと令和2年度協会事業打合せ 農林水産フェスティバル監事監査	京都府水産会館（舞鶴市） 各JA JA京都中央会
5月 7日 12日 14日 " 20日 22日 27日 " 28日	京もの「中食」需要拡大支援事業公募開始 府補正予算打合せ JA京都打合せ 監事監査 府内イオン各店巡回・販促用ディスプレイ設置 京の食材マーケット開拓員打合せ（TV会議） 理事会 京もの「中食」需要拡大支援事業について料理関係団体に説明 カゴメと販促打ち合わせ	協会事務所 " 市内（平安監査法人） 府内イオン各店 協会事務所 セントノーム京都 市内 府庁
6月 2日 11日 " 12日 16日 19日 22日 25日 26日 27日 30日	京都酒米プロジェクト監査 特産協事務局会議 JA京都やましろ打合せ 第48回定時総会・第2回理事会 JA京都中央会打合せ 全農園芸課商談同行 スーパーイズミヤ販促打合せ同行 JA京都賀茂なす出荷会議 レシピ動画撮影立会 あじわい館オンライン料理教室 ブランド水産品PR強化等打合せ	府庁 JA京都中央会 JA京都やましろ セントノーム京都 京都市内 大阪市中央卸売市場等 市内各店 JA京都亀岡営農センター 大阪府豊中市 あじわい館 京都府漁協
7月 1日 " 6日 8日 9日 " 13日 " 15日 16日 17日 " " 27日 " 30日 31日	園芸関係機関連絡調整会議 特産協幹事会 農林水産フェスティバル計画打合せ PR用素材撮影 「儲かる農業」プロジェクト立上げ準備会議 量販店販促打合せ イズミヤ販促打合せ 役員登記手続き 京夏ずきん出荷打合せ会議 京もの「中食」需要拡大支援事業打合せ 特産協本協議会 プロジェクト研究に関する打合せ 京もの「中食」需要拡大支援事業打合せ 京の食材マーケット開拓員テレビ会議 賀茂なす販売店巡回 ファミリーマートモニター設置 あじわい館オンライン料理教室 京の酒ブランド品検査（7、10、14、16、20、21、30）	府庁 " JA京都中央会 向日市（佐川印刷） JA会館 京印 京果 京都地方法務局 農林水産技術センター 市内（竹茂楼） JA会館 府庁 " 事務所内 スーパー山田屋各店 高槻市 あじわい館 各酒造会社

月 日	行 事 等	場 所
8月 1日	パルスプラザ打合せ	市内(パルスプラザ)
2日	大阪ガス夏休み親子料理教室	ディリパ京都
5日	園芸関係機関連絡調整会議	府庁
〃	「儲かる農業」プロジェクト立ち上げ準備会	〃
7日	店頭販促用動画撮影立会	豊中市内スタジオ
12日	観光情報誌掲載広告撮影	市内(萬重)
18日	金時人参ブランド化打ち合わせ	全農園芸課
21～24日	「京都JAビル」へ引っ越し	
24日	イベント取組情報収集	市内(ジーク(株))
25日	おもてなし協議会打合せ	全農
26日	事務所移転登記申請	法務局
	京の酒ブランド品検査(4、7、27)	各酒造会社
9月 7日	府酒造連会長打合せ	市内(山本総本家)
〃	園芸関係機関連絡調整会議	府庁
9日	首都圏開拓員打合せ(TV会議)	協会事務所
10日	立命館学生調査対応	〃
14日	ブランド認証審査会幹事会(青果)	京都JAビル
15日	ブランド認証審査会事前打合せ	亀岡市内
17日	スーパー山田屋巡回	京田辺市ほか
18日	ブランド認証審査会	京都JAビル
25日	京野菜取扱店推薦に係る打ち合わせ・店舗調査	京印ほか
	京漬物ブランド品検査(23、29)	各漬物会社
10月 1日	府・協会来年度事業案意見交換	府庁
2日	京都調理師専門学校出講(Web講義)	京都調理師専門学校
5日	特産協事務局会議	JA京都中央会
8日	園芸関係機関連絡調整会議	府庁
〃	府農林水産部との意見交換	〃
12日	堀川ゴボウ販売促進打合せ	協会事務所
15日	首都圏販路開拓員打ち合わせ	全農園芸課
23日	京もの「中食」需要拡大支援事業実施店の取組状況等聴取	市内(萬重)
26日	えびいも出荷講習会	JA京都にのくに
〃	京都府副知事に協会取組報告	府庁
〃	首都圏ABCワークショップ打合せ	協会事務所
27日	丹後水産物ブランド化等推進協議会丹後とり貝部会	京都府水産会館(舞鶴市)
〃	レシピ動画撮影立会	豊中市内
11月 5日	えびいも研修会	農林水産技術センター
〃	首都圏販促打合せ	都内(全農青果センター)
6日	〃	都内(東一)
11日	府内JA向け推奨システム選定に向けた聴取会	府庁
17日	聖護院だいこん首都圏出荷会議	JAやましろ久御山支店
19日	京のおもてなし会議	JA全農京都
20日	特産協事務局会議	JA京都中央会
〃	レシピ動画撮影	大阪府豊中市
25日	「野菜の会」で堀川ごぼうPR	都内(学会館)
26日	首都圏販促打合せ	〃(東京促成青果)
27日	「元気印」現地取材	久御山町

月 日	行 事 等	場 所
12月 9日	万願寺甘とう部会協議会役員会	J A 京都にのくに
10日	「旬の京野菜提供店」募集開始	
〃	京都料理組合組合長に「旬の京野菜提供店」募集説明	西陣魚新（上京区）
11日	「金時にんじん」上鳥羽生産者打合わせ	J A 京都市
13~14日	京料理展示大会 online 出展	
14日	ブランド産地更新等打合せ	J A 京都・J A 京都やましろ
15日	〃	漁協・J A 京都にのくに
〃	特産協事務局会議	JA 京都中央会
16日	来年度当初予算打合せ	事務室内
18日	園芸関係機関連絡調整会議	府庁
21日	N H K 京都放送局取材対応	事務室内
〃	京野菜マルシェ打ち合わせ	府庁
22日	J A 京都京野菜部会亀岡支部賀茂なす部会反省会	J A 京都亀岡中部支店
23日	酒米こだわり生産認証検査	事務室内
24日	京野菜マルシェ打ち合わせ	〃
1月 5日	初市	京都市中央卸売市場
7~8日	「京都レストランウィンタースペシャル 2021」食材提案会	市内（京都経済センター）
8日	京野菜マルシェ打合せ	協会事務所
12日	イズミヤ店頭動画更新	イズミヤ各店
13日	〃	〃
18日	水産ブランド産品打合せ	京都府漁協
19日	京都府育種専門部会（園芸チーム、冬野菜）	府農林センター
21日	立命館大学食マネジメント学部シンポジウム講演	立命館大学草津学舎
22日	首都圏販路開拓員打ち合わせ	協会事務所
28日	観光情報誌広告撮影	市内（萬川）
2月 2日	淡交社（茶の湯マップ）打合せ	協会事務所
9日	紫ずきん3号種子選別作業	京都府原種農場
10日	「こえびちゃん」旧袋処分等打合せ	J A 京都やましろ
〃	瑞穂農林打合せ	協会事務所
15日	来年度府予算案説明会	〃
18日	オンライン料理教室（京野菜説明）	あじわい館
24日	レシピ動画撮影立会	豊中市内

(別紙)

令和2年度農産物価格安定対策事業実績

1 野菜等経営安定対策事業

今年度の補給交付金交付額は、春～夏の葉菜類・夏～秋の果菜類が単価安傾向にあり、花きについては、今年度は2産地が保証対象産地となったが昨年に比べて単価が安定しており交付金交付額は昨年に比べて減少。

今季も暖冬の影響で秋冬作の野菜が例年より生育が早まったこと、また飲食店・首都圏出荷等の需要が減少したことから単価安が予想される。

対象品目数	対象産地数 (加入産地数)	交付予約数量 (トン・千本)	交付準備額 (千円)	補給交付額 (千円)
野菜 13	野菜 28	野菜 1,101	117,908	6,028
花き 1	花き 4	花き 871	5,907	65
(計 14)	(計 32)		125,617	6,093
				事業完了率 71%

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

昨年と比較すると、補給金を交付した2品目においては、天候不順等の影響もあり、全体的に出荷量が減少し高値傾向となったため、交付額は減少した。

対象品目数	対象産地数 (加入産地数)	交付予約数量 (トン)	交付準備額 (千円)	補給交付額 (千円)
3	4	1,070	22,142	1,162
				事業完了率 100%

3 豆類価格安定対策事業

高齢化などにより一時的に事業を中止する産地が数産地あるものの、多くは現状維持。
補給交付金については現在集計中。

対象品目	対象産地数 (加入産地数)	交付予約数量 (トン)	交付準備額 (千円)	補給交付額 (千円)
黒大豆	5	100	41,361	—
小豆	10	63	27,923	—
				事業完了率 0%

4 加工・業務用野菜生産基盤強化支援事業

令和2年度は、事業実施主体1団体2事業計画の事務支援を実施。